



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB

WEEKLY

BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4 F
 会長 坂上充作 幹事 河尻鳩親 会報委員長 藪根敏夫

才213回 例会 昭和54年11月19日(月) 於 海南商工会議所

1. 開 会 司 会 坂 上 充 作
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. 出席率 97.5% 会員総数40名 出席者数39名
 前回修正出席率 97.5%
4. ビジター 阿部由之様(海南R.C.) 堀口晃様(橋本R.C.)
 岩橋行伸様(有田R.C.)
5. メイキャップ 追田博司君(11/14海南R.C.)
6. 会長スピーチ

ビジターの皆様方ようこそお起下さいました。有難うございます。先日国際ロータリー東京事務所より手紙を頂いておりますので、文面の内容を簡条書にして読ませて頂きます。

- (1)創立75周年記念基金への寄附をされましたか。(2)あなたのクラブでは、ポールハリスフェローの証明書を、ロータリアンに贈るようになされましたか(3)あなたのクラブでは正味2%の会員増加の目標を立てておられますか(4)あなたのクラブでは米国イリノイ州シカゴの1980年国際大会に少なくとも一名の代表を送る計画を立てておられますか。(5)あなたのクラブは青少年指導者養成プログラムのような青少年活動プログラムに参加されていますか。

以上是我々の目標のほんの一部をあげたものにすぎません、とありましてそして例の我々には伝統があります、我々には責務があります、我々には開かれた道があります、今こそ世界友好の精神をもって前進しようではありませんか、奉仕の灯で道を照らそうではありませんか、と結んでおりました。

さて先日の理事会で御承認して頂きまして、ロータリー財団の1,000弗、3H基金の600弗早速送金する手続をとらせて頂きました。来年6月1日～5日に開催されます国際大会に参加の御希望の方は、大会一週間前からアメリカ、カナダ、バミューダ地域のロータリアン宅に宿泊させて頂けるとの事で、早急に御申込下さい。それから海南青年会議所の塩崎理事長から創立十周年記念式典出席に対する礼状が届いておりますので、御報告致しておきます。

7. 幹事報告

LET SERVICE LIGHT THE WAY... 奉仕の灯で道を照らそう...



○ 例会日時・場所臨時変更のお知らせ

大阪南西R.C. 12月17日(月) P.M. 5:00 ホテルプラザ2F 聚楽

12月31日(月) → 12月27日(木) P.M. 12:30より

○ 年次総会 12月3日(月) P.M. 6:30~初音

8. 卓話 玩具について 稲井章二君

玩具は大きく分けて、男物・女物・幼児物とありますが、近頃ティバン、マスコミ物、キャラクター物、I.C.路線という言葉が入ってきました。マスコミ物キャラクター物というのは、御承知のようにテレビ、雑誌の漫画の主人公又は、それに附随する物です。そしてテレビ放映が終ると駄目になる商品です。ティバンは、昔から続いている商品で、ツミ木、レール物、金属製玩具です。今注目しているのに、I.C.を使用したラジコンとかゲーム類があり、小型でも高額になります。近頃は商品サイクルが短かくて人気商品が目まぐるしく変り、何が売れ筋か的を絞るのに苦労しています。現在クリスマス・正月を目指して商品を仕入れていますが、何分小さなメーカーが多く、増産態勢が整っていないので、欲しい物が全然手に入らないものですから、毎日頭を痛めている次第です。

卓話 醤油について 名手広行君

醤油は、最近アメリカを始め多勢の多国人が、肉料理に使用するようになってきましたが、我々日本人にとっては、なくてはならない調味料です。醤油の起源は、奈良時代に遡り、始めは野菜・魚・穀物など塩漬にして貯蔵していた所、貯蔵中に出てくる汁(ひしほ)が調味料として、使用されるようになりました、そして醤油の本当の先祖となる米・小麦・豆などを発酵させた物になり、その後鎌倉時代に溜が出現しました。1250年信州の禅僧、覚心が中国から径山寺の製法を持ち帰り、紀州の湯浅でそのみその製法を村人達に教える過程である日、桶の底に沈澱した液で、食物を煮るとおいしい事を発見した事から、溜が発明されたと言われます。これが現在の醤油の起源です。関東でも、1561年には野田銚子で醸造が始められました。その頃の醤油は湯浅発祥の溜醤油でありましたが、関東人の嗜好に合わないという事で、改良され、大豆に小麦を併用して、現在の濃口醤油が作られるようになりました。

卓話 小林寺拳法について 隅田卓爾君

今日は青年時代に情熱を燃やしました、小林寺拳法のお話をします。小林寺拳法の創始者は宗道臣という人で、満州で関東軍の特殊工作員でした、そこで特殊工作に必要な教育を受ける為、宗教専門学校に入り、陳老師という教官と知り合い中国の武技としての拳法を学ぶ事になりました。そしてそれを系統たて、整理して日本に持ち帰った訳です。小林寺拳法の才一步は、自分自身の足下を見る事から始まると教えられました。これはその単純な行為の中から修行に対する心構えが出来、そこに感動が生まれるという事です。又小林寺拳法はどんな場合でも合掌礼で挨拶をかわす事になっています。これは人と人とが対等の合掌礼をすることこそが最高の礼であるという訳です。最初私がこれを修行しようと思ったのは、強くなりたいという気持からでしたが月日が立つにつれて、小林寺拳法は行であって単なる武道やスポーツでない悟るようになりました。人を立てる事と、団結する事が大事と感じるようになった訳です。